

**R 4**  
**坂本小学校学力向上プラン**

< 第4次総合計画 基本施策G1 >  
「次世代を生きぬく子供の育成」  
G1-1 確かな学力の向上  
G1-2 健やかな心と体の育成  
G1-3 学校・家庭・地域の連携による教育の充実  
G1-4 子どもが安全・安心に学べる教育環境の整備

< 学校教育目標 >  
「笑顔の花を咲かせよう」～ 自ら考え、学び合い、行動し～

< めざす児童像と育てたい力 >  
○元 気(明るい・たくましい・あきらめない)ー自分で解決しようとする力・やり抜く力(夢と挑戦, 耐性)  
○笑 顔(仲良く・助け合う・感謝の心をもつ)ー感じる力・伝える力(かかわり, 自他の良さに気づく)  
○やる気(進んで学ぶ・工夫する・学ぶ習慣を身に付けている)ー考える力・振り返り, 生かす力(選択する, 練り合い, 創る)

目標  
6年 全国学力・学習状況調査において, 全国平均を上回る項目の割合100%  
5年 県学力調査において, 県平均を上回る項目の割合100%

< 全国学力調査から観た児童の実態 > 【6年生】  
国語 ○「読むこと(物語)」は, 全国平均よりも11.1~14.0高い。  
△「言葉の特徴や使い方に関する事項」は, 全国平均よりも1.2低い。  
算数 ○「データの活用」の問題では, 全国平均より15.5高い。  
△「変化と関係(割合)」の問題は, 全国平均よりも3.5~6.7低い。  
理科 ○「エネルギー」の問題では, 全国平均より19.7高い。  
△「粒子」の問題は, 全国平均より12.0~32.5低い。

< 県学力調査から観た児童の実態 > 【5年生】  
国語 ○「書くこと」は, 県平均より20.0~25.9高い。  
△「知識・技能」は, 県平均より15.2~16.7低い。  
算数 ○「数と計算」の問題では, 県全体より13.3~13.5高い。  
△「変化と関係」の問題は, 県全体より8.2~10.1低い。

【 知識及び技能の定着 】  
○「はげみタイム」の有効活用  
※語彙・漢字・ローマ字  
○「読書タイム」の充実  
○「たいせつ」の活用・掲示

【 授業づくり(校内研修) 】  
「読むこと」(説明的な文章)そして「書く」力の育成  
【 本年度のテーマ 】  
読解力(読みの技術)を活かして表現できる児童を育てる国語科(説明的な文章)の学習指導~児童の実態に則した, 目標達成のための手立ての工夫~  
【 本年度の仮説 】  
「構造と内容の把握」段階において習得した「技能」を活かした表現を, 「精査・解釈」の段階で具体的に説明したり練習したりすることによって, 「考えの形成」段階で表現できる児童が育つであろう。

【 あじさいスタンダードの徹底 】  
○ゴールの明確化  
○子供目線の「めあて」と「まとめ」  
○児童の考えを深める発問  
※ゆさぶり発問の工夫  
○話し合い活動の工夫  
○振り返り時間の確保と学びの深化。

< 教育活動の充実 >  
○道徳教育の充実  
○特別支援教育の充実  
○学校行事・特別活動の充実  
・委員会活動 ・クラブ活動  
・縦割り活動(清掃・共遊)  
○体験活動・表現の場の充実  
・被爆体験聞き取り ・平和ウォーク  
・学習発表会 ・長崎の宝事業  
・豆腐作り体験 ・田植え稲刈り体験  
○図書館教育の充実  
・朝読書 ・読書バザール  
・読書の木 ・目標全校で20000冊  
(低…100冊, 中…80冊, 高…50冊)

< 学級経営の充実 >  
○学習規律の確立  
・「坂本っ子のきまり」の徹底・定着  
・授業前の準備の徹底・定着  
・聞き方  
○支持的風土の醸成  
・間違いから学ぶ  
・互いの良さに気付き認め合う  
○地道な頑張りを生かす学級  
○児童・保護者・教師の信頼関係の確立  
○所属感・充実感を感じられる学級

< 指導体制の充実 >  
○O.T.T・個別指導  
○支援員・ICT支援員・学校司書との連携  
○校内支援委員会  
・児童理解連絡会  
・個別の支援・指導計画  
○特別支援学級との交流  
○学校保健委員会  
○蓄積型学習支援の活用

学びを支える素地

< 学習環境の整備 >  
○活動環境の整備  
・教室前面への掲示を控える。  
・チョークの色の統一(黄・白)  
○学習用具の共通理解  
・筆箱の中身の統一  
・図書バッグの利用  
○学習のきまりの定着  
・学習前の机上への準備  
・正しい姿勢の徹底  
○ICT機器の活用  
○Chromebookの活用

< 家庭との連携 >  
○「よくわかる!坂本小学校」の配付  
・学習用具・Chromebookの使い方の共通理解  
・学びの習慣化  
※「家庭学習のすすめ」の配付  
・「あ・は・は運動」の奨励  
○基本的な生活習慣作りのサポート  
・元気アップカードの取組  
・メディアゼロチャレンジの取組  
○学校保健委員会  
○面談・懇談会等での情報の共有化  
○学校・学級通信の発行

< 地域との連携 >  
○地域行事への参加の奨励  
・山王くんちへの参加  
○学校教育活動への協力依頼  
・集団下校(地域ネットワーク)  
・坂本太鼓山の継承  
・豆腐作り体験  
・田植え体験  
・稲刈り体験  
・ハタ作り  
○朝の立哨指導  
○幼稚園・保育園との連携